



「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ Aim your hopes towards the stars in your early days

高校吹奏楽部 全日本マーチングコンテスト 出場決定!

TOP*NEWS

中等部吹奏楽部 吹奏楽コンクール 金賞!

全中 水泳 三井 陽菜乃さん 第8位!

弓道部 西原さん、上田さん 関東大会出場!



～ 全国大会へ向けて ～

ドラムメジャー 3年1組 井下 すみれ

私たち吹奏楽部は、8月30日に行われた東京都マーチングコンテストにおいて金賞を受賞し、さらに全国大会への推薦をいただくことができました。日頃からご指導してくださる先生方をはじめ、応援してくださる生徒の皆さんや保護者の方々の支えがあってこそ、このような結果を残すことができたのだと深く感謝しています。本番では、演奏・演技の中で自分たちの力を出し切れた部分もありましたが、同時に改善すべき課題や反省点も数多く見つけられました。全国大会では、この経験を糧に一層練習を重ね、観てくださる方の心に残る、迫力と感動にあふれたステージをつくり上げたいと思います。そして良い報告ができるよう、部員一同精いっぱい努力してまいります。今後とも変わらぬ応援とご支援をよろしくお願いいたします。

「2026年度 東海大学付属学校推薦型選抜適性審査」の結果、 23名が推薦候補者に決定

東海大学の付属学校推薦型選抜について、5月31日(土)に児童教育学部児童教育学科、6月28日(土)に医学部医学科、7月5日(土)に医学部看護学科、8月1日(金)に工学部航空宇宙学科航空操縦学専攻の適性審査がそれぞれ実施され、23名の生徒が推薦候補者として決定しました。それぞれ1、2年生のうちから適性審査に向けてしっかりと準備を進め、面接試験などの厳しい審査を突破して推薦候補者となりました。おめでとうございます。

現在、高校1、2年生で適性審査のある学部・学科を希望する皆さんは、早期からの準備を心掛けてください。

付属学校推薦型選抜適性審査の合格者氏名(順不同)

高須 悠河*	岩岡 珠実*	江島 奈那	齋藤 匠*	先崎 平和	西原 凜空	大谷 花
小林 美波	藤本 歌音*	山本 彌恵	能勢 春日*	松井絵美里	大場 琉生*	田中 陽菜*
高内 歩佳*	ピヨ 月碧	鈴木 彰隼	新井さとみ	田中 翔海*	野邊 音希*	八木 綾華*
山口 琴未*	屋良 亜美*					

*印の付いた生徒は特別奨励入学候補者

付属学校推薦型選抜適性審査合格者

学部・学科名	人数
児童教育学部 児童教育学科	12
医学部 医学科	3
医学部 看護学科	7
工学部 航空宇宙学科 航空操縦学専攻	1

部・同好会活動報告

ダンス部

高輪ゲートウェイ ダンスバトル

優勝 3年 先崎 平和
準優勝 2年 吉澤 七海

初のフリースタイルダンスバトル優勝

3年2組 先崎 平和

このたび、人生で初めて出場させていただいたダンスバトルで優勝することができ、大変光栄に思います。この結果は高校までダンス未経験だった私1人では取ることができなかったと思います。部活動の仲間やいつも支えてくださる青木先生、早川先生をはじめ、コーチ、サポートをしてくれる後輩、応援してくださった皆様のおかげで、この結果を手にすることができました。今回素敵な機会をくださって本当にありがとうございました。

バトル当日は緊張もありましたが、声援のおかげで自分の持てる力を最大限に発揮し、観客や審査員の皆さんに自分の熱意を伝えることができたと思います。

この優勝は、これからの部活動において大きな励みとなるとともに、3年生最後の建学祭や定期公演に向かってより良いものをお見せできるようさらに精進します。何事にも感謝を忘れず、今後も挑戦を恐れず、自分の可能性を広げていきたいと強く感じています。引き続き応援をよろしく願いたします。



(左)優勝した先崎さん・(右)準優勝の吉澤さん



©TAKANAWA GATEWAY CITY

写真提供：JR東日本

部・同好会活動報告

水泳

第65回全国中学校水泳競技大会 出場



さらなる高みを目指して

3年B組 三井 陽菜乃

私は8月17日から鹿児島県で行われた第65回全国中学校水泳競技大会に出場し、女子100m自由形で8位入賞、200m自由形で11位という結果を残すことができました。今回の試合に向けて、自分の課題を明確にした上で、どのように改善できるかを考えながら何度も試行錯誤を重ねてきました。最高学年として出場した今大会で、昨年からの目標だった個人での2種目出場とともに決勝進出を果たすことができ、とても嬉しく思っています。今回このような場に立つことができたのは校長先生、教頭先生をはじめ学年の先生方のサポートがあったからこそだと心から感謝しています。来年はインターハイ出場を目指し、今後もより高い目標を掲げ、日々の練習に一層励んでいきたいと思っています。

演劇部

「佐賀県 × 港区連携プロジェクト」において 高輪築堤を題材にした演劇に出演

日本初の鉄道開業に際して佐賀出身の政治家・大隈重信が建造を指示した高輪築堤の遺構が2019年4月に発見されたことを契機に、港区と佐賀県がお互いの縁を深めていくことを目的とした事業「佐賀県×港区連携プロジェクト」に演劇部の4名が参加しました。

全国大会に何度も出場している佐賀県立佐賀東高等学校の演劇部が港区内で公演を行うにあたり、区内にある高校の演劇部と交流することを港区長が提案されたことから本校演劇部にお声がかかりました。

部長 3年1組 高橋 美沙緒

私たちは「佐賀県×港区連携プロジェクト」の一環として8月3日に港区立赤坂区民センターで上演された佐賀東高校演劇部の「きみが海と唄う日」に客演させていただきました。お話をいただいたとき、はじめは期待半分不安半分というような気持ちでした。しかし、夏休みの前からオンラインで稽古を重ねていくうちに、お互い似たような気持ちだったと知りました。本番前日には佐賀東の方々と直接会い、一緒に芝居を作っていくことでより絆を深めることができたので、最後にはこの企画に参加して良かったと思いました。

この経験を活かして、より良い活動をしていきたいと思っています。ご来場いただいた皆様、佐賀東高校演劇部のみんな、本当にありがとうございました。



写真提供：佐賀県・港区

部・同好会活動報告

美術部

「港区を刻む」版画展を開催

8月22日から9月28日の間、港区立高輪図書館の4F展示スペースにて、本校美術部（中・高）の版画展が行われました。テーマは「港区を刻む」、本校のある港区のさまざまな場所を単色木版で表しました。自然光が差し込む明るいスペースにモノクロ作品が立ち並び、落ち着いた雰囲気の中で作品をじっくり鑑賞できる展示会でした。

版画の制作は1年生の時に1度行っており、2度目となる今回は前回よりも技術や表現力が向上していることを実感しました。初めての時は彫るのに精いっぱいでしたが、構図や彫り方もこだわり、自分なりに港区の景色を表せたと思います。版画は手間と時間がかかりますが、完成した時はとても達成感があります。中部部、高校美術部員が丁寧に取り組んだ作品です。一部は建学祭でも展示予定ですので、ご覧になっていただけると嬉しいです。

美術部部长 3年6組 齊田 つむぎ



美術部版画展ポスター



GTEC検定版(2025年6月14日実施) 成績上位者一覧

本校では高校生全員がGTEC(Global Test of English Communication)Advancedというスコア型英語4技能テストを受検しています。6月のテストにおいて優秀な成績を取めた生徒に対して(株)ベネッセコーポレーションより賞状が授与されましたので、こちらでご紹介します。なお、4技能合計で1000点以上(上限スコアは1280点)を獲得した1年生5名、2年生2名、3年生10名につきましては、9月の朝礼において表彰を行いました。

次回実施は12月6日です。1点でも高いスコアが取れるよう、頑張ってください!

《1年》	《2年》	《3年》
▶4技能合計 5組 山田慈英久 ★ 6組 木村 凜英 9組 アリサキ ミコ 10組 アサヒ アリサキ ハムダ アルタイバ ▶Writing 2組 安孫子由佳 5組 山田慈英久 ★ 10組 ハムダ アルタイバ ▶Speaking 5組 山田慈英久 ★ 9組 アリサキ ミコ 10組 ハムダ アルタイバ ▶Reading 5組 山田慈英久 ★ 9組 アリサキ ミコ 10組 ハムダ アルタイバ ▶Listening 5組 山田慈英久 ★ 6組 木村 凜英 ★ 8組 長谷川幸輝 ★ 9組 アリサキ ミコ ★ 10組 ハムダ アルタイバ ◆スコア増加 1組 井上 一希 ★ ほか9名 ※対象は本校中部出身者のみ	▶4技能合計 6組 田中 花 10組 水城 慶 1-セブ アリサキ ★ ▶Writing 4組 市村 史帆 ★ 8組 池田 咲希 ★ 10組 水城 慶 ★ 1-セブ アリサキ ★ ▶Speaking 9組 岩田初奈佳 10組 波田野里桜 1-セブ アリサキ ★ ▶Reading 6組 田中 花 10組 兵頭 拓実 1-セブ アリサキ ★ ▶Listening 6組 田中 花 ★ 10組 水城 慶 ★ 1-セブ アリサキ ★ ◆スコア増加 7組 崎田 踊星 ★ ほか9名	▶4技能合計 1組 生駒宝之心 堀澤 正人 3組 石原 蒼 4組 江口 侑樹 5組 杉山 翔 友井 映奈 10組 王 鑫源 オマル アルヤミ 八木 綾華 ★ 屋良 亜美 ▶Listening 1組 生駒宝之心 4組 江口 侑樹 ★ 10組 八木 綾華 ★ ▶Writing 1組 野房 香蓮 5組 友井 映奈 10組 八木 綾華 ★ ▶Speaking 9組 大高 裕美 10組 王 鑫源 八木 綾華 ★ ◆スコア増加 9組 仁多見純平 ★ ほか9名

★…本校において最も高いスコアを記録した生徒

★…上限スコア(満点)を記録した生徒

中部部だより 第74回はたらく消防の写生会結果

今年度も中部部1、2年生が美術の授業にて東京消防庁主催のコンクールへ参加しました。

このコンクールは作画を通して、消防の仕事への関心を高め、防火防災意識の育成・向上を図る目的で行われています。美術の授業では、制作を始める前に防火防災についての知識を身につけてから取り組みました。1年生は写生画の部へ、2年生はポスターの部へ挑戦し、それぞれで優秀賞(消防総監賞)と入選(消防署長賞)をいただきました。作品をご紹介します。

優秀賞(消防総監賞)

1年生

写生画の部



A組 池田 真帆



A組 大塚 乃渚

入選(消防署長賞)



A組 橋 明日香



A組 保高 悠馬



B組 中村 亜輝



B組 藤村 怜雄

優秀賞(消防総監賞)

2年生

ポスターの部



A組 齊藤 遥



B組 深代 野乃

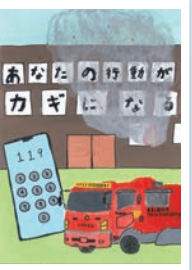
入選(消防署長賞)



A組 新井 希実



A組 中村 美緒



B組 岩井 萌々華



B組 貫井 楓

2025年度学校運営方針

今回は、今年度の実践目標の中から、「あらゆる行事を通して、豊かな情操を培い、素晴らしい人間関係をつくりあげる」についてご紹介いたします。

実践目標

あらゆる行事を通して、豊かな情操を培い、 素晴らしい人間関係をつくりあげる

学校行事は、単なるイベントではありません。文部科学省の学習指導要領においても「特別活動」として位置づけられ、望ましい人間関係の形成や集団への所属感、公共の精神を養うことを目的とした、極めて重要な教育活動です。

高輪台ではたくさんの行事が行われます。近いところでは、10/11、10/12に建学祭、10/29に剛健旅行、11/12に中等部体育祭等があります。その他にも年間を通して本校には、スポーツ大会、写生大会、芸術鑑賞、研修旅行、イングリッシュ サマーキャンプ、Tokyo Sightseeing Tourなど中等部から高校まで本当に多くの行事があります。

行事の本質は、当日の華やかさだけではなく、その準備から実施、振り返りまでの一連の過程にあります。生徒たちは、仲間とともに考え、意見を交わし、時にぶつかりながらも、互いを理解し、協力し合うことで、行事をつくりあげていきます。その中で、達成感や充実感を味わい、自分自身やクラスへの誇りを育んでいきます。

このような経験は、生徒一人ひとりに「自分はこの集団に必要とされている」という自己存在感をもたらし、自己肯定感を高めます。そして、自分の努力が誰かの支えになっていることに気づいたとき、他者の努力にも自然と目が向き、感謝や思いやりの心が育まれていきます。

高輪台では、東海大学付属校としての理念のもと、授業だけでなく、部活動や学校行事など、あらゆる場面で生徒が主体的に関わり、人間的に成長できる環境づくりに力を注いでいます。行事は、生徒の社会的資質・能力を育てる「生きた学び」の場であり、未来を生き抜く力を育む貴重な時間です。

保護者の皆様には、ぜひこのような行事の意義をご理解いただき、お子様が悩みながらも前に進み、仲間とともに成長していく姿を温かく見守っていただければと思います。可能であれば、学校行事の際にはご来校いただき、お子様の姿をご覧ください。



2025年度中等部合唱祭



2024年度中等部写生大会

2025年度中等部
(English Summer Camp)

2024年度中等部体育祭



2024年度剛健旅行



2025年度高校体育祭

2024年度建学祭
(入浴剤制作)2025年度中等部校外学習
(国立科学博物館)

SSH活動報告

8月5日に行われたアジア海洋教育に関する国際的な学会に1名の2年生、8月6～7日に神戸国際展示場で行われた「SSH 生徒研究発表会」に1名の3年生、8月19～21日に行われた「科学体験学習」に1年生全員、8月21日に学校法人玉川学園で行われた「探究スタートアップポスターセッション」に1名の3年生が参加しました。それぞれの活動に参加した生徒の感想を紹介します。

国際学会に参加して

2年10組 黒瀨 詩保子



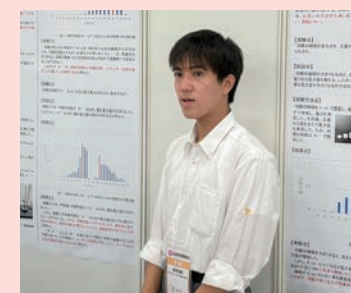
英語発表の様子

私は、8月5日に行われたアジア海洋教育に関する学会に参加しました。この会議は、世界中から海洋教育者、研究者やビジネス関係者の方々が集まって議論を深めるものです。今回、私は初めて英語で口頭発表を行いました。時間制限がある中、どのようにプレゼンを行えば聞き手にわかりやすく伝わるかを考えながら、本番までたくさん練習を重ねてきました。当日はさまざまな国の方々がいらっしゃる中、練習の成果を出すことができました。しかし、少し早口になってしまったので、今後は口頭発表に限らずプレゼンを行う機会があったら改善していきたいと思います。また、日本の学生さんや他の国の方々の発表を聞いたことで、他の地域での海洋に対する取り組みや考え方などについて触れることができ、さまざまな方向から海について学ぶことができました。

研究を伝えるということ

3年10組 関 和弥

令和7年度SSH生徒研究発表会に参加し、全国の高校生による多彩な研究を直接見聞きすることができました。環境問題やエネルギー、地域資源の活用など、テーマも手法も多様で、それぞれの学校や地域の特色が色濃く表れていた点が特に印象に残っています。発表では、聞き手を惹きつける話し方や、限られた時間内で要点を的確に伝える工夫が随所に見られました。また、ポスターのレイアウトや配色、図表の使い方にも個性があり、情報を整理しつつ視覚的に訴えることの重要性を改めて実感しました。自分の研究をよりわかりやすく、魅力的に伝えるためには、内容だけでなく構成やデザイン面にも力を入れる必要があると強く感じています。今回の経験で得た刺激と学びを、今後の研究活動に活かし、より質の高い発表を目指していきたいと思います。



生徒研究発表会での一枚

JAXAで学んだこと

1年10組 杉田 虎之介



JAXAにて

私は今回JAXAでの科学体験学習で学んだことがいくつかあります。まず大きいです。展示館には「きぼう」や「はやぶさ2」などの原寸大の模型が展示されていました。それらは私が思っていたよりもとても大きかったです。しかし、「きぼう」は言ってしまえばISSの一部なので、ISSはさらに大きいと思うととても興味がわきました。次に「きぼう」の運用管制室です。ISSでは宇宙飛行士が自由気ままに研究をやっているわけではなく、地上の運用管制室から指示を受け、逆に「きぼう」の設備環境の調整をお願いしています。このようにお互いに支え合って全員で一丸となって生活や研究をすることがわかりました。今後さまざまな角度から新たな学びを得て、考え方を養っていきたいです。

科学体験学習での学び

1年10組 矢島 龍之介

今回、地質標本館と那珂核融合研究所を見学し、職員の方々や研究者の皆さんのお話を聞いた中で、学ぶことの楽しさや、目標に向かって努力することの素晴らしさを感じることができました。地質標本館では、化石や鉱物など、普段はあまり注目しない分野に触れることができ、興味を引くような工夫がされた展示や、研究の楽しさに触れる貴重な体験となりました。那珂核融合研究所では、施設案内を通して研究者の皆さんの説明を聞き、未来へのエネルギーを創り出そうとする熱意が一つ一つの言葉から伝わってきました。この2つの施設での体験は、私の中でとても印象に残り、これからの学習においてもこの意欲を忘れずに、前向きに取り組んでいきたいと思っています。



グループワークの様子

発表から得たもの

3年10組 原田 正太郎



玉川学園での一枚

今回のポスター発表を通じて、発表に対する心得や姿勢について多くのことを学ぶことができました。私はこれまで人前で話すことに苦手意識があり、発表に対して強い抵抗感を持っていました。失敗することへの不安から、発表前は非常に緊張していました。実際に発表してみると、緊張のあまり言葉に詰まる場面もありましたが、最後までやり遂げることができ、自信につながりました。発表が終わると多くの方から実験内容に関する質問をいただき、自分では思いつかなかった視点から貴重なアドバイスをいただくことができました。これからは今回のアドバイスや意見を取り入れて、今後の実験や発表に活かし、より良い成果につなげていきたいと思っています。

学年だより 中1



夏休みの国語の課題で「前期の学校生活を振り返ってその中で学んだことや得たもの」というタイトルで作文を書いてもらいましたので、ご紹介します。また、10月に行われる建学祭のテーマについてお知らせします。



初めての合宿で得たこと

A組 大塚 乃渚

私が前期でいろいろな学びを得たと思ったのは、オリエンテーション合宿です。大きく分けて二つの学びがあります。

まず、部屋と行動の班が決まり、その中にはあまり話したことがない子もいました。自然と会話をする機会が増え、人の意見を考えたり、自分の意見を伝えたりすることの難しさやコミュニケーションの大切さを感じました。

次に、静岡の三保に行き、静岡の建造物や東海大学を見学し、さまざまな学びを得ることができました。今まで自分があまり興味を持っていなかったことも、合宿を通して触れることで興味を持ち、調べるようになりました。それによって学習の視野が広がり、学校生活だけでなく、将来に活かせる学びを得ることができました。

この二つの学びを活かして、成長していきたいです。

前期の学校生活で学んだこと

B組 内山 心晴

私は、前期で学んだことは大きく二つあります。

一つ目は、人との関わり方です。私は、部活動に入り、先輩への関わり方を学びました。みんなと向き合いながら、自分の足りないことを知ることができました。これからは自分の足りないことを見直し、部活動に活かしていきたいです。

二つ目は、家族との関わりです。中等部に入り、部活動に入り、新しい友達ができ、毎日忙しく過ごす中で、家族と過ごす時間が少なくなっていました。いつも自分のためにいろいろとしてくれる親に対して親孝行をし、家族との時間も大切にしていきたいと感じました。

このようなことを学んだことを活かして、後期の学校生活に活かしていきたいです。

勉強を通じて学んだこと

A組 金澤 好男

僕が前期の学校生活を振り返ると、勉強を通じて多くのことを学んだと感じています。

中等部の勉強が始まった最初は、難しい科目に苦しむことも多かったのですが、その中で「努力」の大切さを実感しました。特に社会や英語はなかなか理解できず、何度も挫折しそうになりましたが、諦めずに自習を続けることで、少しずつ理解が深まり、小テストでも点数がとれるようになりました。このことから、努力すれば、必ず成果が出るということを学びました。さらに、予習や復習を重ねることで、効率良く、焦ることなく準備して授業を受けることができました。

また、自分の得意科目を見つけ、将来について考えるきっかけにもなりました。勉強を通じて、将来の進路に対する自分の興味や目標が少しずつ明確になり、今後にかける大きな財産だと感じています。

入学して学んだこと

B組 齋藤 浩樹

僕が前期の学校生活で学んだことは、部活動の大変さです。ソフトテニス部に入部したのですが、もともと体力があまりなく、練習についていくのがやっとでした。しかし、練習を重ねていくうちに体力もついてきて、練習で息切れすることもなくなりました。練習試合では相手の動きにしっかりとついていけるようになり、自信がついてきました。

それから初めて他校との試合に出場し、相手の強さを感じ、もっと練習を熱心に取り組むようになりました。その後、自分たちも強くなってきていると実感できる試合もあり、また一つ自信につながりました。

まだまだ普段の練習で習得したいことがたくさんあるので、これからの活動に活かしていきたいです。

建学祭発表内容

オリエンテーション合宿を振り返り、それぞれのテーマを発表します。



学年だより 中2



English Summer Camp



8月27日～8月29日に東海大学婦恋高原研修センターにおいてEnglish Summer Campが行われました。英語にたくさん触れた3日間となりました。

Don't be shy

A組 新居 綾

高輪台の中等部で、週1回の英会話の授業やESS同好会に所属している私は、普段から英語が身近な存在だと思っていました。

合宿の1日目は、なかなか英語が聞き取れず、グローバルリーダーの質問に対して緊張してうまく答えることができませんでした。

2日目以降は、少しずつ聞き取れるようになり、相づちをしながら話を聞くことができました。最終日はリーダーの出身国であるガボン共和国の伝統的なゲームやダンスを発表しました。初日の自分が信じられないくらいリーダーとも打ち解け、英語で会話ができるようになりました。

最初は、緊張してうまく話せなかったり、なかなか聞き取れなかったりしました。だからといって黙ったままではもったいないと思いました。間違えてもいいから話してみる、自分から明るく積極的に英語を話せるようになった3日間でした。

次回への目標

B組 青木 厳大

今回この3日間を通して僕は、いろいろな国の人と交流ができてとても楽しかったです。その中でも日本と違った文化を知れたのでいい経験ができました。

最初の自己紹介の時には、初めてグローバルリーダーと会ったこともあって、うまく話すことができなかったけれど、だんだんと話せるようになってきました。その中で、僕が話した英語がうまく伝わらなくてグローバルリーダーが困ってしまったときがありました。普段の英語の授業から、自分でスペルや英語の勉強をしていたらと思いました。全体的に楽しめた3日間だったけれど、もっとしっかりと話してみたいです。またこういった外国の人と話す機会があったら、それまでに練習して話せるようにしておきたいです。またいつかどこかでグローバルリーダーに会いたいです。



学年だより 中3

～頑張りが抜いた3年間～

中部部生活も残り半分となりました。部活動によっては、既に引退を迎えた生徒がい
ますので、3年間頑張ってきたことや高校生活に向けての意気込みを紹介します。

ソフトテニス部

A組 小泉 莉央



3年間励んできた部活動がこの夏で終わりました。ソフトテニスは私が3年間で一番頑張ったことであり、先輩や後輩とも仲良くできたと思います。練習中はつらいこともありましたが、楽しかった思いがとて強いです。時には言い合いをしたこともありましたが、その分、相手の気持ちもわかり、さらに仲を深めることができたと思います。
先輩には技術面はもちろん、学校生活についてたくさんのことを教えてもらいました。その経験を活かしながら後輩にも教え、それにプラスして自分が体験したこと教えました。実績としていい結果を残せなかったのが唯一後悔していることです。この悔しさを忘れずに、高校では先輩方に厳しく指導してもらい、悔いなく部活動が続けていきたいです。

サッカー部

B組 坂本 煌将



私は3年間、サッカー部で活動してきました。勝てない悔しさや思うようにいかない試合も多く、何度も心が折れそうになりましたが、それでも仲間と励まし合いながら練習を続け、少しずつ成長を感じることができました。勝利の喜びよりも、努力を積み重ねることの大切さや、仲間との絆の尊さを学べたことが何よりの財産です。
引退した今、寂しさと同時に達成感も感じています。高校ではこの経験を活かし、サッカーでも勉強でも、「うまくいかない日々が努力を続ける力をくれた」という気持ちを胸に、何事にも全力で取り組んでいきたいです。たとえ結果が出なくても、そこで学んだことや仲間と過ごしたかけがえのない時間は、きっと将来の自分を支える力になると信じています。

卓球部

A組 山崎 壮太



私は3年間、卓球部に所属しました。週6日の活動は大変でしたが、顧問の先生の指導や先輩の優しさ、仲間との練習を通して良い人間関係を築くことができました。私は同学年の中で唯一卓球経験者であったため、みんなを引っ張りながら練習に励みました。2年の夏に3年生が引退し、私たちがチームのトップに立ちました。最初は思うような練習ができなかったり、みんなにうまく指示が出せなかったりしましたが、部活動を通じていくうちにできるようになったと思います。
引退後もOBという形で部活動に参加し、後輩にアドバイスをしています。この活動を通して、仲間はもちろん、先輩としての立場や団体行動の大変さを知ることができました。高校でも、卓球が続けていきたいです。

女子バスケットボール部

B組 四岡 玲奈



私は3年間、女子バスケットボール部で活動してきました。入部当初は体力も基礎力もなく、練習についていくことがやっとでしたが、周りから励ましの声をもらい乗り越えてきました。また、仲間と協力しながら、日々の努力を積み重ねることで少しずつ成長できたと思います。試合では、思うように結果が出ず悔しい思いをしたこともありましたが、この経験があったからこそ最後まで諦めず取り組む力が身についたと思います。
練習の厳しさや仲間との絆は、私にとってかけがえのない思い出です。高校に進学しても、バスケットで培った粘り強さを活かし、新しい環境でも積極的に挑戦していきたいです。そして次の目標に向けて努力を続け、自分自身をさらに磨いていきたいと考えています。

陸上競技部

A組 吉見 翠



3年間、陸上競技部で過ごした時間は本当にあっという間でした。毎日の練習はきつく、思うように結果が出ないこともありましたが、顧問の先生や先輩に支えていただいたり、チームで励まし合ったりしながら最後まで続けることができました。その結果、最後の大会では、都大会で8位入賞という結果を残すことができ、とても大きな達成感を味わいました。
悔しいことやつらいこともたくさんありましたが、その一つ一つが自分を強くしてくれたと思います。陸上競技部で学んだ「努力すれば成長できる」ということを大切にして、高校でも新しいことに前向きに挑戦していき、これからも自分の目標に向かって、諦めずに頑張りたいと思います。

男子バスケットボール部

B組 堀口 蒼太



3年前、部活動を選択する際に、これまで興味があったバスケットボールに挑戦しようと決めました。週6日の練習に慣れるまでに時間がかかりましたが、練習を通してバスケの面白さやチームメイトとの信頼関係を築くことができました。2年生から部長を任せられ、よりチームでの活躍に責任を持って行動することができました。また部長としての役割を考えながら自ら率先して声掛けしたり、部をまとめたてることができるようになり、大きな成長をすることができました。引退を迎えましたが、これまでの経験は高校生になっても、また将来においても貴重な体験になると思います。ここで学んだことを大切に、高校生活においてもさまざまな事柄にチャレンジしていきたいです。



学年だより 高1

高輪台にちなんだオリジナルスタンプ

高校現代文明論の授業中に、知的財産創造教育の一環として、高輪台にちなんだオリジナルスタンプを作成しました。個性豊かなスタンプと、オリジナルキャラクターをご覧ください。



1組 石原 悠登



7組 芳元 志庵



「急げ! カワセミ」
1組 里見 志帆

港区の区の鳥であるカワセミをモチーフに、毎日あわただしく登校する高輪台生の様子を表現しました。共感でき、親近感の湧くスタンプです。



「せーの! いいね!」
2組 武田 健汰

保健体育の授業の時に、誰かが意見を言ったあと「せーの! いいね!」という掛け声で認め合うのを参考に、誰でも気軽に使えるスタンプを作りました。

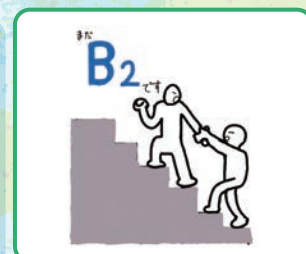


4組 東 芽吹



「朝のエレベーター」
3組 渡邊 夏王斗

高輪台での学校生活で強く印象に残っているものが、朝のエレベーターだったので作りました。エレベーターの中の人の多さを上手に表すことができました。



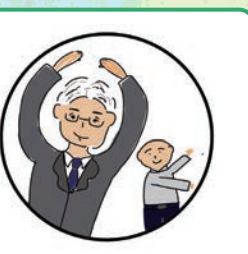
「まだB2です」
4組 小川 航輝

校舎が縦に長い高輪台ならではのスタンプです。階段を頑張って上っている様子がポイントです。スタンプで何かを表現することの難しさを知りました。



「泉岳寺くん」
5組 斎藤 惺成

港区高輪には大きなビルがたくさんあるけれど、昔から残っているお寺である「泉岳寺」をアピールしたいと思い、このスタンプを作りました。



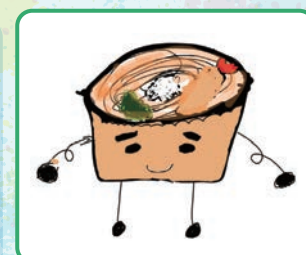
「校長先生OKスタンプ」
6組 内野 萌歩

校長先生と副校長先生のスタンプを作りました。先生たちも使えるように「OK」マークにしました。



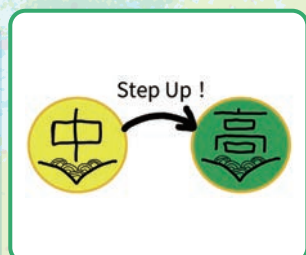
「高輪台柔道部」
7組 新井 統二郎

100kg級なのに自分では「軽量級だ」と主張する高輪台柔道部の男子部員を表現しました。



「そば」
8組 佐々木 梨花

高輪台といえば、食堂のそばだと思ったのでそれをモチーフに作りました。高輪台のそばはほかのどの学校にも負けないくらいおいしいと思います。



「ステップアップ」
9組 石橋 翼

高輪台は中高一貫校で、中部部から高校に上がると校章が変わります。それをイラストにして、ステップアップした時に使えるスタンプを作りました。



「さすがSSHスタンプ」
10組 ハムダ・アル・オタイバ

「さすがSSH」という言葉は、先生や生徒の間で使われ、高輪台ではなじみのあるフレーズです。シンプルなデザインにすることで誰でも気軽に使えるようにしました。

学年だより 高2

前期で代替わりした部活動紹介

高校2年生も半年が過ぎ、いくつかの部活動で代が替わり中心メンバーとして活動している部活動が増えてきました。今回はいくつかの部活動の新部長に意気込みやチームの目標を聞いてみました。

バドミントン部

2組 嵐田 駿

この役職に就いてから、仲間の失敗も自分の責任として受け止めるようになり、そこから何を学び、どう成長するかが大切だと感じました。先輩の代より引き継いでからは、同級生が役職に関係なく支えてくれ、後輩も自分についてきてくれて、代替わり後のチームも大きく成長していると感じています。これからも失敗を恐れず挑戦し続け、部としてさらに成長できるよう努力していきます。目標は、引退の時に良い形で終え、良い結果を残して次の代へつなげることです。

ゴルフ部

3組 大野 真生

私が部長になった時、一番最初に感じたことは、「自分にこの代をしっかりとまとめることができるのだろうか」ということです。私たちの代は、良くも悪くも個性が溢れるメンバーです。それを前部長はしっかりとまとめてくれていました。今まではそんな先輩に頼っていましたが、これからは自分の力でまとめていく必要があります。そのためには、部活動を楽しみ雰囲気にながら周りにも自分にも厳しくすることが必須です。楽しい雰囲気にすることは可能でも、今の私の精神力では、周りに厳しく接することが難しいと思います。なので、実力でチームを引っ張ることを目標にしたいと思います。そのためには、結果を残すことが大事なので、まずは関東大会出場を目指して、今までよりも努力して力をつけていきます。

女子バスケットボール部

2組 椿 桃香

私は部長になり、先輩たちの姿と比べた時に、チームとしても自分自身もまだまだ足りないことが多くあると感じました。例えば、公式戦では接戦になった時に勝ち切ることができない点や、大事な場面でのシュートを決めることができない点です。自分にとってもチームにとっても、当たり前になっていた先輩たちの存在を実感し続ける日々です。ここから約1年かけて、チームとして試合に出ている人、出していない人に関係なく、勝ちにこだわることをできるチームを目指したいです。また、自分自身はチームを勝たせられるようなプレーヤーになれるように頑張りたいと思います。

テニス部

5組 児島 陽成

テニス部は新体制となり、部員一人ひとりが自分の役割を意識し、チーム全体のレベルアップを目指しています。日々の練習では基礎を大切に、試合では最後まで粘り強く戦える精神力を身につけていきます。また、互いに声を掛け合い、支え合うことで、チームの団結力を高めていきたいと思っています。今年度は公式戦で一つでも多く勝利を重ね、日頃の努力を結果に結びつけられるよう挑戦を続けていきます。

卓球部

5組 鈴島 司穂

私は部長になってから部をまとめることの大変さを実感しました。自分のことだけではなく、周りのことも常に見ながら指示を出す必要があり、部長を引き継いできた先輩たちは本当にすごいなと思って尊敬しています。私は、実力も他の部員に対して劣って、卓球で尊敬されるような背中を見せることはできないかもしれません。ですが、先輩たちに部長を任された以上は、実力以外の人間性で模範となるように頑張ります。誠実さや真面目な姿勢で部員のみんなを引っ張っていきたいです。そしていつかは強くなって、実力でも私についてきてくれるような背中を見せたいです。そして団体に加えて、シングルスやダブルスでも勝てるように、みんなで力を合わせていきたいです。

ソフトテニス部

9組 堀 健太郎

私は、ソフトテニス部の部長としての大きな役割を任せてもらったばかりは、なかなかうまくいかず私の指示のミスが目立ち、部活動を回すことができていませんでした。その時は、先輩たちのチームをまとめる力のすごさを実感しました。合宿や日々の練習を通して、自らが率先して行動し、技術面だけでなく礼儀やチームワークを大切にすることを心掛けていきます。また、大会では全員が自分の力を発揮できるよう、声を掛け合い、チーム全体の士気を高めていけるように頑張っていきたいです。部長としての責任を胸に、仲間と共に努力を重ね、インドア大会出場、関東大会団体2日目を目指せるよう、チーム全体が同じ目標に向けて、努力をしていきたいです。

学年だより 高3

部活動の思い出

高校3年生の中には、夏休み頃から部活動を引退した生徒たちが出てきました。部活動の中心としていつも後輩や仲間を支えてきた部長たち。その歩みには数え切れない思い出と、大きな成長が詰まっています。今回はいくつかの部活動の部長に、3年間の思い出や成長などを述べてもらいました。

女子バスケットボール部

5組 柴原 彩季

部活動では、仲間と共に努力を続ける中で多くのことを学びました。特に、長い間ケガで思うように活動できなかった仲間が、最後の試合に出場できたときは本当に感動しました。苦しい練習や悔しい経験もありましたが、その瞬間に「頑張ってきて良かった」と心から思うことができました。仲間の存在の大きさや、諦めず挑戦し続けることの大切さを実感できたことが、私にとって大きな成長でした。



男子バスケットボール部

2組 綿谷 恵志郎

僕がバスケットボール部で過ごした日々は、苦しくも楽しかった3年間です。厳しかった練習でもみんなで声を掛け合い、乗り越えました。初めは部長として毎日が大変でしたが仲間の支えがあり、終わってみればいい経験になりました。3年間で多くの合宿に行き、みんなで過ごした宿舍も楽しかったです。1年間キャプテンをやり、成長できた点はコミュニケーション能力が向上しました。練習中や練習後にも話して仲を深めました。インターハイ予選では八王子に負けてしまい、目標としてたベスト8にはなれませんでした。全員最後まで諦めずに戦えました。この部長をやってきた1年間で学べたことを、これからも活かしていきたいです。



女子バレーボール部

5組 遠藤 海輝

私はバレーボール部で3年間活動し、多くのことを学びました。1、2年生の頃は練習を重ねてもなかなか成果が出ず、悔しい思いをすることも多くありました。しかし仲間と支え合い、自分たちの代で必ず結果を出すことを目指し、挑戦を目標にチーム一丸となって取り組んだ結果、3年生として迎えた最後の大会で優勝することができました。その瞬間は、これまでの挑戦が結果につながったと感じると同時に、自分やチームの成長を実感し、挑戦を続けることの大切さを学びました。そして、結果を残すことで後輩たちに良い形で次につなげられたことも大きな喜びであり、これからは後輩たちがさらに大きな成果を挙げられることを期待しています。



バドミントン部

3組 木村 光希

自分はバドミントン部の部長として、練習の計画や大会への集合調整、部員同士の意見の調整など、多くの責任を担いました。中でも、今年に部員が増えた際には、全員が切磋琢磨しながら雰囲気の良い環境作りを目指し、工夫や声掛けを重ねました。その結果、部の雰囲気が一層前向きになり、良い結果をたくさん残すことができました。この経験を通して、私は人の意見に耳を傾ける姿勢や、周囲を引っ張るリーダーシップ、物事を継続する力が身につく、大きく成長できたと感じています。

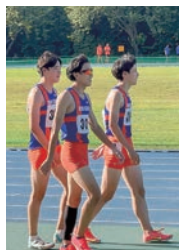


お知らせ

2025年度 東海大学学園オリンピック スポーツ大会開催！

7月、8月に行われたのは以下の部活動です。9月には剣道、3月にはサッカー、柔道が行われる予定です。

種目	順位	種目	順位
バドミントン	男子、女子それぞれ優勝	卓球	男子、女子それぞれ団体優勝
ソフトテニス	男子、女子それぞれ団体5位	陸上競技	男子4×100mR 1位、その他入賞多数



陸上競技部



卓球部



ソフトテニス部



バドミントン部

行事予定

※予定が変更になる場合があります。

October 10 月

- 1日(水) 後期始業式
短縮授業 5・6限カット(9/27分)
- 4日(土) 総合的探究の時間 成果発表会
- 6日(月) 高1HR茶道(8組・9組)
- 7日(火) 振替休日(10/12分)
- 8日(水) 5・6限カット(10/11分)
建学祭開祭式(昼食後)
- 9日(木) 建学祭準備(～10日)
- 11日(土) 第61回建学祭(～12日)
- 13日(月) **スポーツの日**
- 14日(火) 建学祭閉祭式 短縮6限授業
校医相談日⑥
- 15日(水) 専門医によるカウンセリング⑤
- 18日(土) 水泳実習②(中等部)
- 20日(月) 生徒会立会演説会(1限アリーナ/放送)
- 25日(土) 特別時程
SSH成果報告会
- 27日(月) 高1HR茶道(9組・10組)
- 28日(火) 短縮6限授業
第57回剛健旅行開催式
- 29日(水) 第57回剛健旅行
- 30日(木) 生徒自宅学習日
- 31日(金) 木曜の授業日
体育祭予行演習(中等部)

November 11 月

- 1日(土) 東海大学建学83周年記念日(中2・3、高校 自宅学習日)
GTEC Junior受検日(中1)
- 2日(日) 学校説明見学会④(中等部)
- 3日(月) **文化の日** 学校説明見学会④(高校)
- 4日(火) 高輪台高校創立81周年記念式典 剛健旅行閉会式
朝礼・短縮授業 1限目カット 月曜の授業日
- 6日(木) 外部実力試験(中等部)
学園高大連携総合試験 基礎力判定テスト①(高校)
- 7日(金) 作文コンテスト(中等部)
付属推薦小論文試験・小論文コンテスト(高校)
木曜の授業日 漢字検定②
- 10日(月) 一斉公開授業② 高1HR茶道(10組)
- 11日(火) 体育祭予行演習(中等部) 校医相談日⑦
- 12日(水) 中等部体育祭(雨天時延期)
- 13日(木) ダンス部定期公演(大田区民ホール・アプリコ:大ホール)
- 17日(月) 生徒による授業評価アンケート③
- 22日(土) 保護者会(中3)
- 23日(日) **勤労感謝の日**
- 24日(月) **振替休日**
- 25日(火) **後期中間試験(中等部:～26日、高校:～28日)**
- 27日(木) スポーツ大会(AM)・キャリア教育(PM)(中等部)
- 28日(金) 校外活動(中等部)
- 29日(土) 3時間授業 東海カルチャーセミナー(13:00～)
特別講座開始(高3)
- 30日(日) 学校説明見学会⑤(高校)

編集後記

50年前、東海大学付属浦安高等学校の開校式で「かつて、この地は海であった」と述べられたのは初代校長・内木文英先生です。先月、JR高輪ゲートウェイ駅前に新たな商業施設「ニューマン高輪」がオープンしましたが、そこも日本初の鉄道が開業した150年前は東京湾でした。▷むかし under the sea(海底)であったところが、いま over the sea(海外)からの玄関口となっている——きっと内木先生がご存命であつたら「これも価値ある変化である」とおっしゃったことでしょう。ぜひ3ページの「高輪ゲートウェイ・築堤」特集(?)も併せてご覧ください!(の)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ: <https://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>